

2020年3月24日

受益者の皆さまへ

楽天投信投資顧問株式会社

弊社ファンドの基準価額下落について

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

2020年3月24日、以下の弊社ファンドの基準価額が前営業日比で5%以上、下落しましたのでご報告します。

(1) ファンドの基準価額と騰落率

ファンド名	基準価額 (円)	前営業日比 (円)	騰落率 (%)	(ご参考) 報告基準
楽天USリート・トリプルエンジン(リアル)毎月分配型	1,007	△61	△5.7	5%以上下落
楽天USリート・トリプルエンジン(豪ドル)毎月分配型	2,053	△195	△8.7	同上
楽天USリート・トリプルエンジン(トルコリラ)毎月分配型	1,813	△137	△7.0	同上
楽天USリート・トリプルエンジン・プラス(リアル)毎月分配型	1,870	△133	△6.6	同上
楽天日本株トリプル・ベアIV	11,432	△3,298	△22.4	15%以上下落
楽天日本株3.8倍ベア	20,920	△8,007	△27.7	同上

※ 弊社公募投資信託のうち、DC（確定拠出年金）専用、ETF（上場投資信託）は除きます。また、基準価額が前営業日比5%以上（投資信託協会分類の特殊型（ブル・ベア型）ファンドの場合は、別に定める水準）下落のファンドで、上記に記載のないものは別途作成します。

(2) 市況動向

3月20日から23日にかけての金融市場では、新型コロナウイルスの世界規模での感染拡大と、それに伴うグローバル規模での景気後退リスクが強く警戒され続けるなか、米国株式ははじめリスク資産の大幅な調整が継続しました。

米国では、FRB（米連邦準備制度理事会）が期間を定めず国債等の資産買入れを進めることを打ち出す等、金融緩和策を一段と強化した一方で、政権が打ち出している大規模な景気支援策は議会での交渉が難航したことから、投資家の不安心理が改善する兆しは乏しく、株価下落に歯止めをかけるには至りませんでした。米国株式はS&P500指数で20日から23日の2営業日間で△7%を超えて調整し、米国リート市場でも代表的な指数の一つであるダウ・ジョーンズ米国不動産指数（トータル・リターン、米ドルベース）が同期間で△9.7%と、米国株式市場に歩調を合わせる格好で大幅に下落しました。

一方、投資家のリスク回避姿勢が非常に強く、価格変動のある資産から資金を退避させる動きが続くなか、現金としての米ドル需要が高止まりしており、米ドル／円相場では円安地合いとなりました。なお、大幅な下落が続いてきたブラジル・リアル、豪ドル、トルコリラも当該期間については比較的小動きとなりました。

また、3月24日の国内市場においては、海外ヘッジファンドなど短期筋とみられる買いが入ったことから、大幅に上昇しました。

(3) 今後の見通し

新型コロナウイルスの感染拡大が続き、人の移動等が大規模に制限されるなか、経済活動の停滞が長期化し、世界規模で景気後退に陥ることへの警戒が強まっています。こうしたなか、投資家心理は極度に委縮しており、価格変動のある資産からの資金流出が続いていることから、当面、リスク資産や通貨全般に振幅の大きい不安定な推移が続くことを想定せざるを得ません。

資産価格の安定化のためには、金融市場の中心である欧米での感染者拡大に収束の兆しが見えてくることが不可欠ですが、その時期については依然不透明感が強い状況です。こうした状況を受け、FRBやECB（欧州中央銀行）はじめ主要国の中央銀行は相次いで追加的な金融緩和政策を打ち出していますが、金融政策だけでは投資家心理を支えるのは不十分と見られます。よって、今後、金融市場を安定化させるためには、先行している金融政策面の対応に続き、米国や欧州をはじめ各国政府がより積極的な財政措置により、感染者の拡大阻止と国内経済の直接的な支援をバランスよく大規模に実施していくことが求められる状況です。

以上

【重要な注意事項】

◎投資信託に係るリスクについて

投資信託は、値動きのある有価証券に投資します（外貨建資産には為替変動リスクもあります）ので、基準価額は変動します。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。お申込みの際は投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

◎投資信託に係る費用について

《投資者が直接的に負担する費用》

- 購入時手数料
上限 3.30%（税込）
- 信託財産留保額
上限 0.75%

《投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用》

- 運用管理費用（信託報酬）
上限 年率2.135%（税込）
※一部のファンドについては、運用成果に応じて成功報酬をいただく場合があります。
- その他の費用・手数料
上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等でご確認ください。
※その他の費用・手数料等については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率や上限額を表示することができません。
* 費用・手数料等の合計額は、保有期間や運用の状況などに応じて異なり、あらかじめ見積もることができません。

<ご注意>

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、楽天投信投資顧問が運用するすべての公募投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、事前に投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

<当資料のお取扱いにおけるご留意点>

- 当資料は楽天投信投資顧問が情報提供を目的に作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また、投資勧誘を目的とするものではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクを伴います。）に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。

楽天投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者登録番号：関東財務局長（金商）第1724号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会